

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	トミオカコネクト 平野教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体操を通じて運動経験や習熟、授業を通じて社会性の向上が見込める。	授業が円滑に進む為のプログラムや人員配置を行っている。	様々な利用者に対応できるようにケーススタディを行う。
2	どのステージの子が参加してもそれぞれに適した運動を提供できる。	無理のない練習が行えるよう段階づくりを行っている。 体操スクールのノウハウを事業所向けに応用している。	体操等の研修を行い、支援員も授業のポイントを把握する。

3	明るく思いやりのあるスタッフで手厚い支援が行える。	支援員同士のコミュニケーションと利用者の情報を共有する事を大切にしている。	支援員の連携が円滑になるように打ち合わせや会議を充実させる。
---	---------------------------	---------------------------------------	--------------------------------

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	授業時間に制限があるので、学校の時間によっては希望通りの授業が受けられない場合がある。	体操スクールと同じ会場を授業に使っているため	授業以外にも体操に関われる工夫
2	送迎を行っていないため、保護者の動きに左右される。	運転手の確保ができていない。加分の配置が行えない。	要望が多ければ必要な人員確保にのり出す。
3			